

宮崎県永久歯の抜歯の原因 調査から見えてきたこと

松井優華 佐竹あすか 湯浅宏美 森木大輔 松尾祐子（健康増進課）

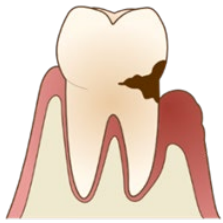
岩田恵美子（日南保健所）

目的

平成27年度の宮崎県における抜歯の原因調査実施から10年が経過



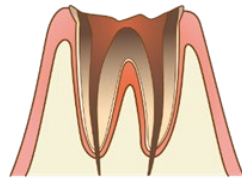
最新の状況を把握し、地域の実情に即した歯科保健事業を推進するため、改めて主要な抜歯原因を特定することを目的に調査実施



根面C



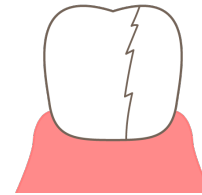
Per



C4



歯周病



破折

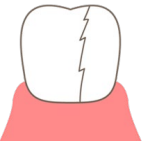


埋伏歯

調査の概要

- (1) 調査対象 宮崎県内の歯科医療機関480施設
- (2) 調査方法 郵送法によるアンケート調査
- (3) 調査期間 令和7年11月10日～11月23日の2週間
- (4) 調査項目 性別、年齢、居住市町村、現在歯数
抜歯 部位、**抜歯の主な原因**
抜歯した歯の修復(治療)の状況、
義歯の使用状況、鉤歯等の状況、歯髓の状
況、喫煙状況、破折原因 (今回追加)

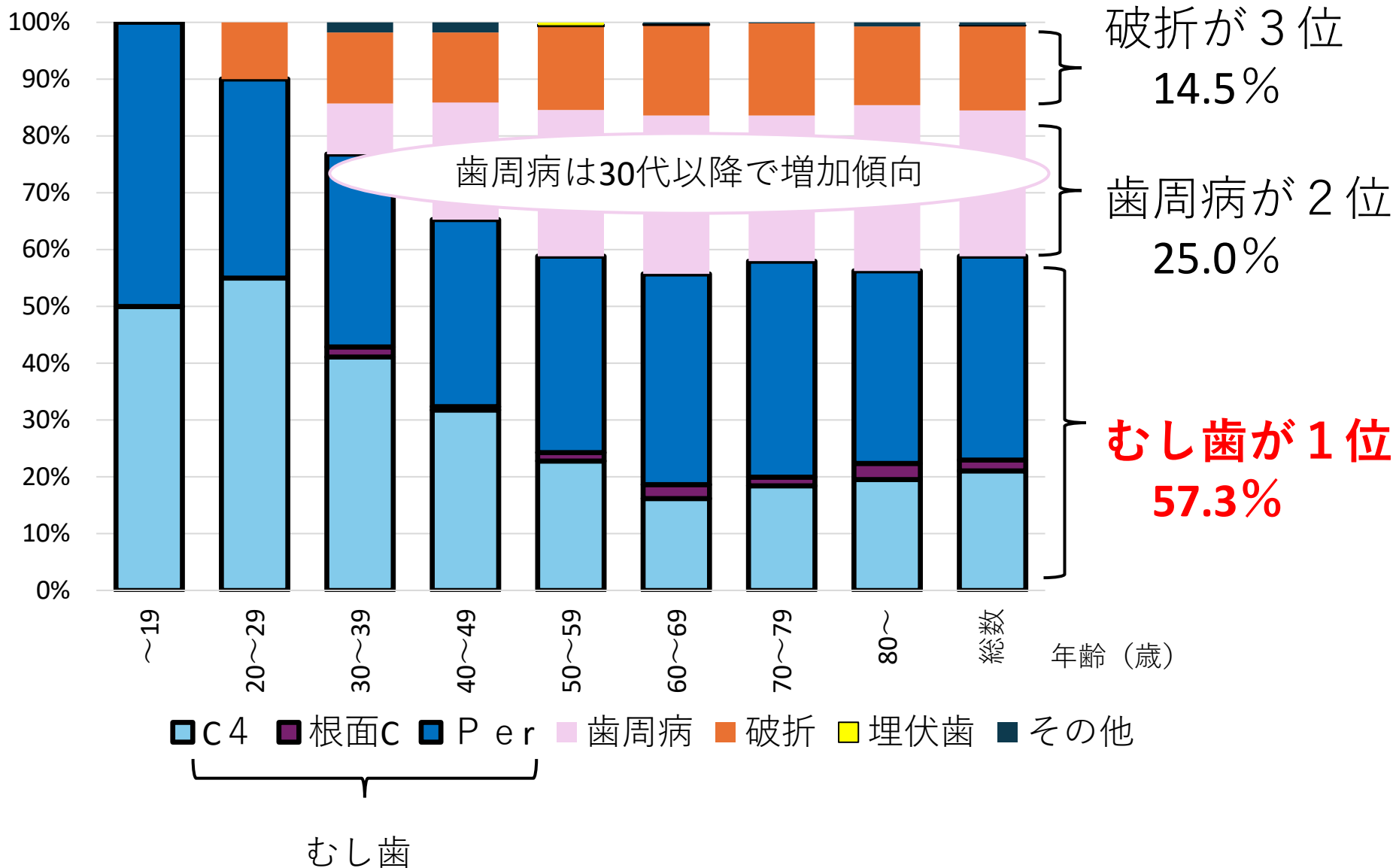
「破折」
を追加



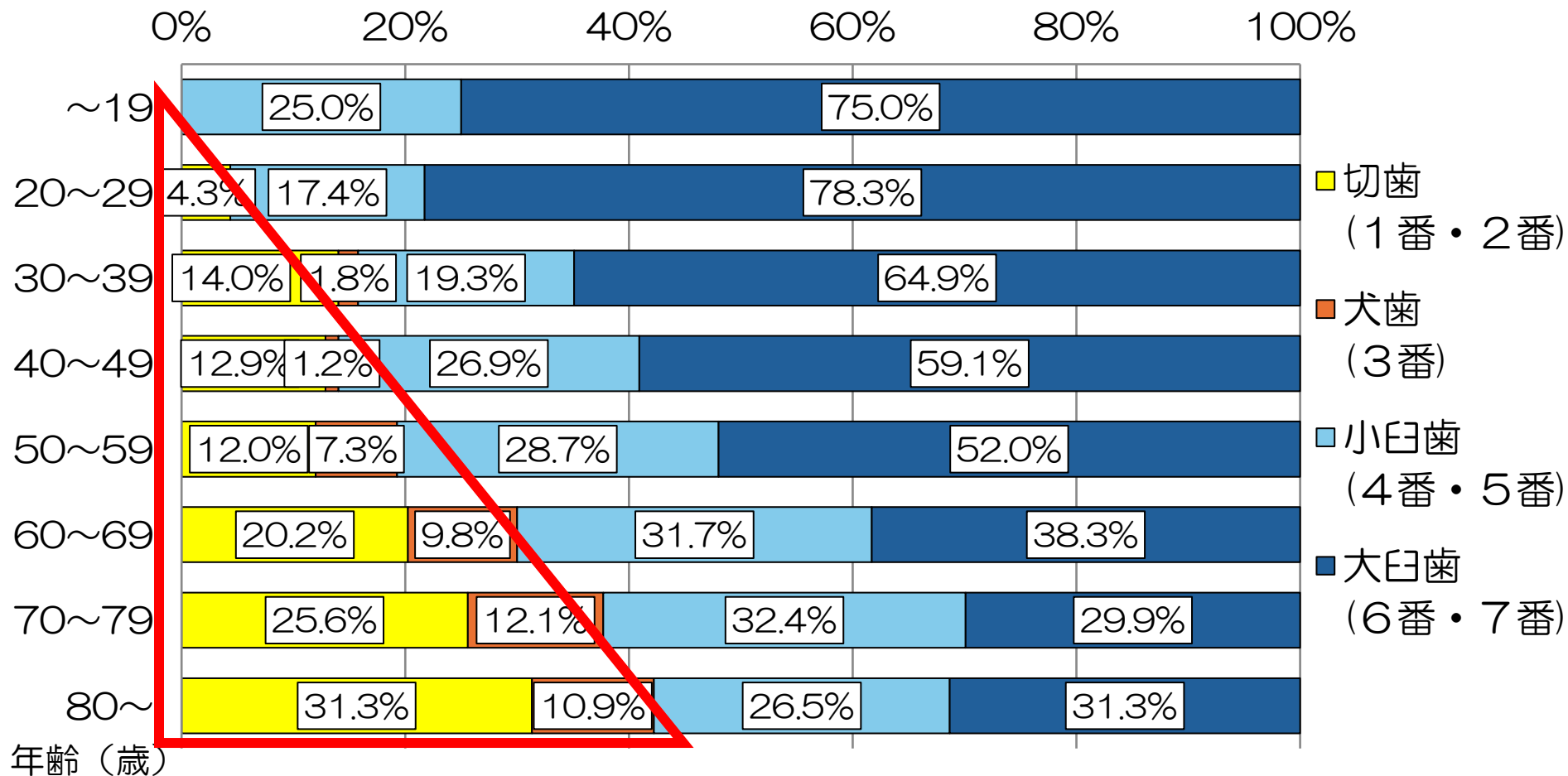
結果と考察

- 回収率 63.3%
480施設中回収304施設
(うち39施設は期間中「抜歯なし」と回答)
- 総抜歯本数 2,533本
分析対象 調査票への記入が不十分な症例と乳歯・
過剰歯・県外在住者を除いた2,483本

年齢別抜歯の原因（矯正を除く）



年齢別抜歯部位(矯正を除く)

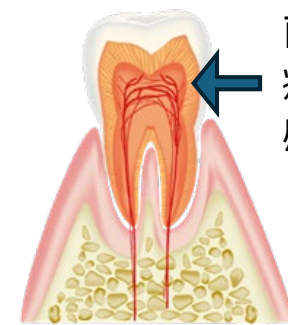
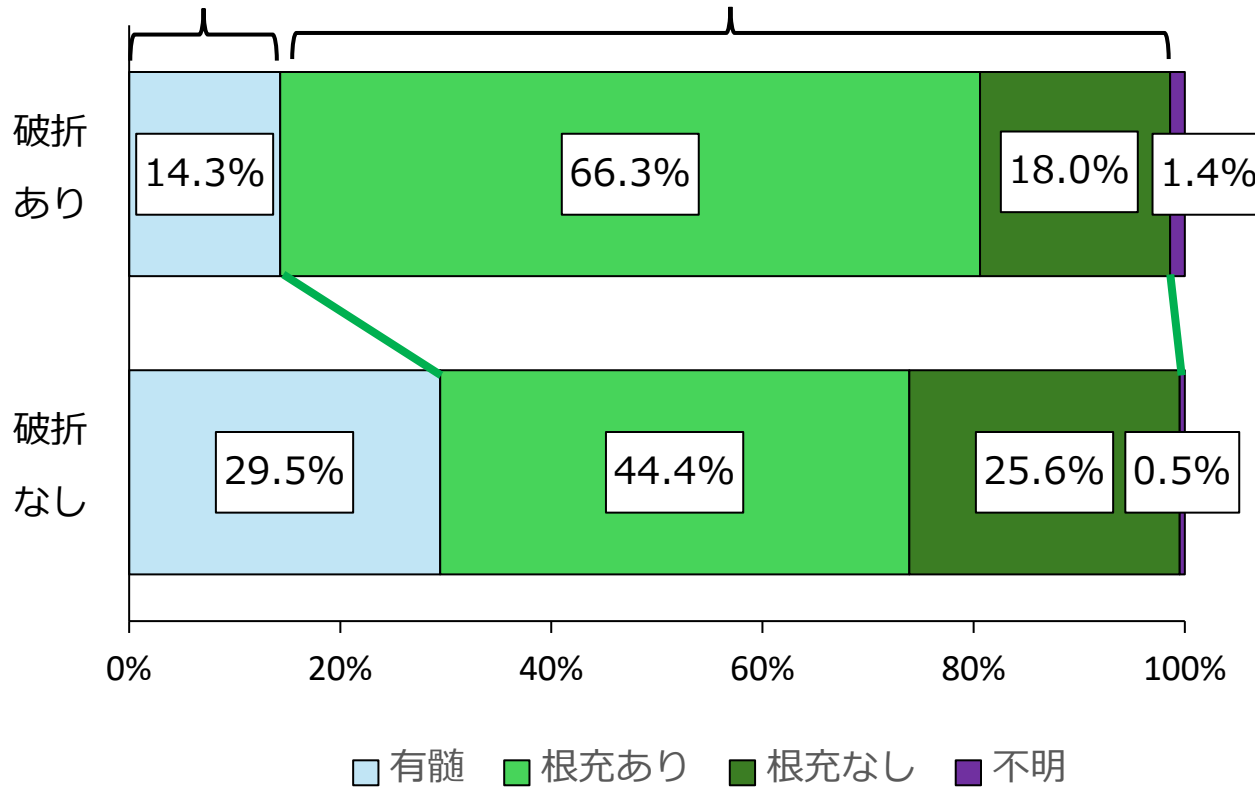


若い世代では大臼歯の割合が高く、年齢とともに前歯の割合が高くなる。

破折の有無による神経の状態

神経が元気な歯

神経がない歯

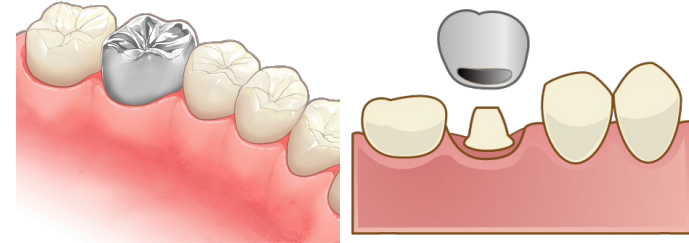


歯の神経
痛みや冷温を
感じる

割れている歯は、歯の神経がない歯の割合が高い！

歯の状態と破折率

歯の状態	健全	むし歯	充填	冠
破折率(%)	4.8	9.9	19.2	27.1



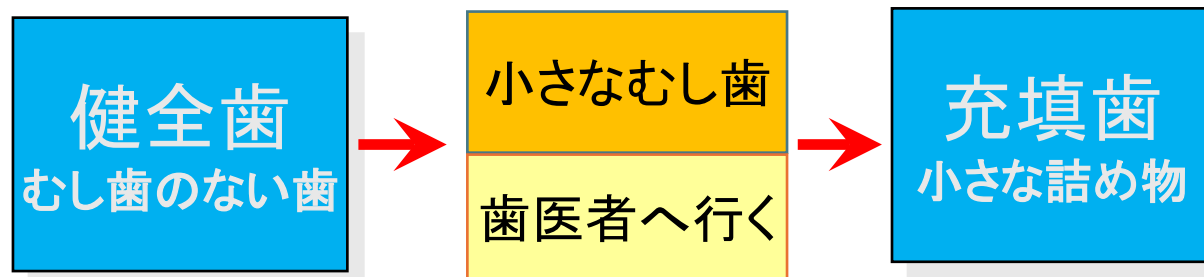
5倍以上

- 冠の歯は破折が有意に多く、健全な歯では破折が有意に少ない。
- 冠の歯は、元々むし歯が深かったり、残っている歯が少ない。
- 神経の治療や被せる治療が必要な大きいむし歯になると、歯を失うリスクが高くなる。

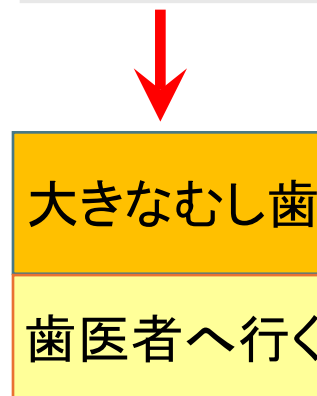


神経や歯質を維持することが破折予防に繋がる！

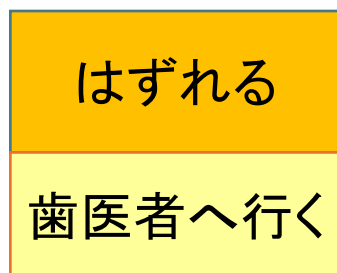
負のスパイラル（むし歯は元に戻らない）



逆向きの矢印はない



もう抜くしかない。。。



もう抜くしかない。。。



見えてきたこと

負のスパイラルを防ぐ！

早期発見・早期治療 → 定期的な歯科健診の受診勧奨

早期のむし歯予防 → 乳幼児期・学齢期から個人・
専門家・集団の連携

個人

保護者

仕上げ磨き
フッ化物配合歯磨剤
の使用
甘味の適正摂取

専門家

かかりつけ歯科医院

大白歯のシーラント処置
フッ化物塗布
健康教育

集団

集団での
フッ化物洗口